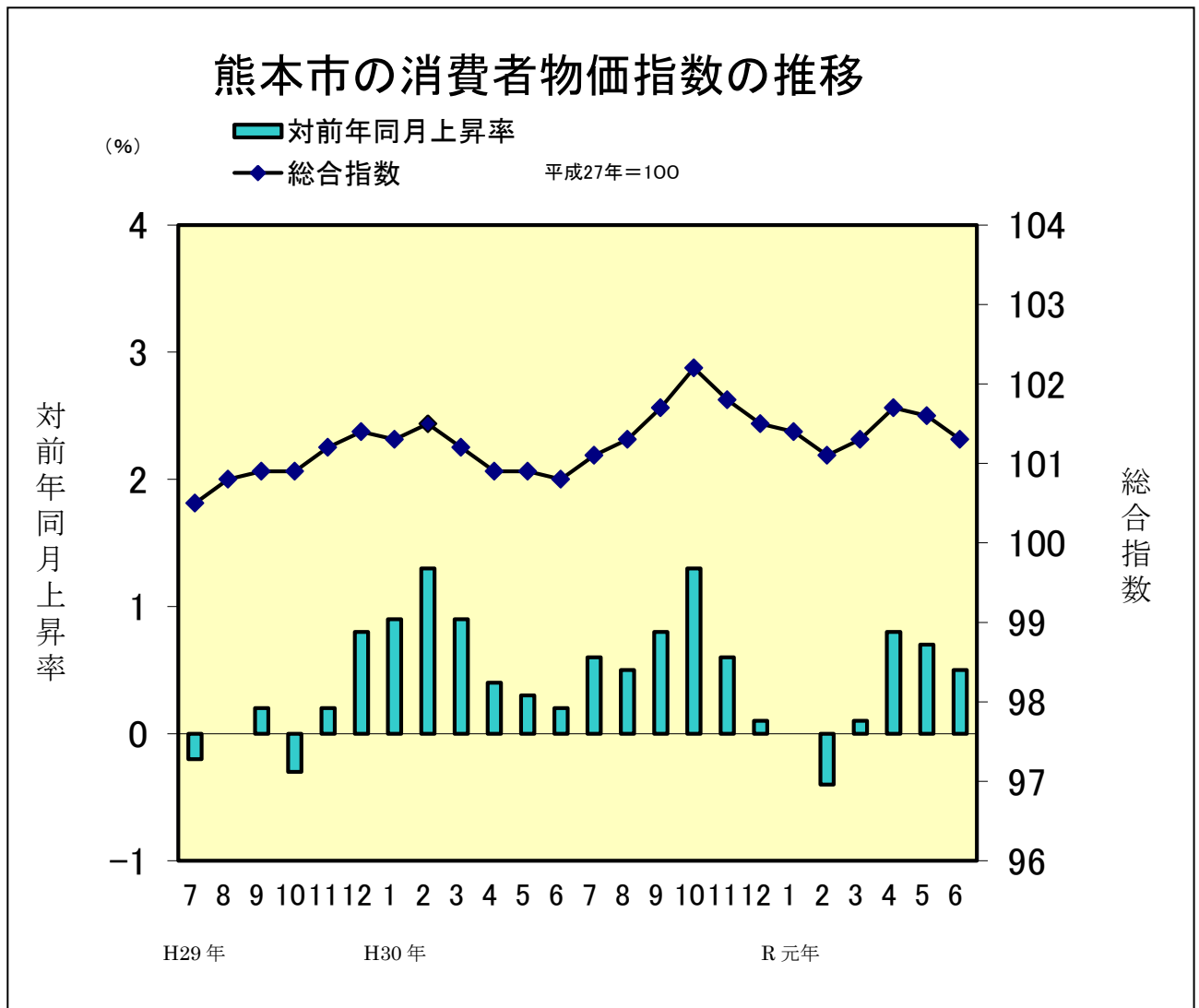


平成27年基準

# 熊本市の 消費者物価指数

令和元年(2019年)6月分



熊本県統計調査課 統計情報(407)

6月の熊本市の消費者物価指数の動向

総合指数	101.3
前月比	-0.3%
前年同月比	0.5%

- 総合指数は、平成27年を100として101.3となり、前月に比べ-0.3%となった。前年同月比で見ると、平成31年（2019年）3月は+0.1%、4月は+0.8%、5月は+0.7%と推移した後、6月は+0.5%となった。
- 生鮮食品を除く総合指数は101.6となり、前月に比べ-0.3%となった。前年同月比は、平成31年（2019年）3月は+0.3%、4月は+0.9%、5月は+0.8%と推移した後、6月は+0.5%となった。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数は100.5となり、前月に比べ-0.4%となった。前年同月比は、平成31年（2019年）3月は-0.5%、4月は+0.2%、5月は+0.3%と推移した後、6月は+0.0%となった。

○上昇及び下落した主な項目（寄与度順）

(1) 前月との比較

△上昇した主な項目

魚介類	(+) 2.1%
菓子類	(+) 1.1%
教養娯楽サービス	(+) 0.3%

▽下落した主な項目

通信	(-) 2.6%
教養娯楽用品	(-) 3.6%
家庭用耐久財	(-) 5.4%

(2) 前年同月との比較

△上昇した主な項目

教養娯楽サービス	(+) 2.6%
洋服	(+) 5.3%
菓子類	(+) 4.1%
外食	(+) 1.7%

▽下落した主な項目

通信	(-) 5.1%
家庭用耐久財	(-) 12.0%
野菜・海藻	(-) 3.8%

## 1 前月からの動き

総合指数の前月比は0.3%の下落となった。

10大費目でみると、家庭用耐久財などの「家具・家事用品」が1.9%の下落となった。

一方、魚介類などの「食料」が0.3%の上昇となった。

なお、生鮮食品を除く総合指数の前月比は0.3%の下落となった。

また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の前月比も0.4%の下落となった。

### ○費目ごとの主な動き

- (1) **家具・家事用品**は93.5となり、前月に比べ1.9%の下落(－)  
 家庭用耐久財(電子レンジ、電気炊飯器、ルームエアコン等) 5.4%の下落(－)  
 家事雑貨(食器類、台所用品、他の家事雑貨(タオル等)) 1.7%の下落(－)  
 家事用消耗品(ティッシュ・トイレットペーパー、洗剤等) 1.2%の上昇(+)
- (2) **交通・通信**は97.3となり、前月に比べ1.3%の下落(－)  
 通信(はがき、通信料(固定・携帯電話)、運送料等) 2.6%の下落(－)  
 自動車等関係費(自動車、自転車、自動車等維持(ガソリン、自動車タイヤ、自動車保険料等)) 0.7%の下落(－)  
 交通(鉄道運賃、航空運賃、有料道路料等) 0.2%の下落(－)
- (3) **教養娯楽**は101.5となり、前月に比べ0.5%の下落(－)  
 教養娯楽用品(文房具、運動用具、玩具等) 3.6%の下落(－)  
 教養娯楽用耐久財(テレビ、パソコン、カメラ等) 1.8%の上昇(+)  
 教養娯楽サービス(宿泊料、月謝類、入場・観覧・ゲーム代等) 0.3%の上昇(+)
- (4) **光熱・水道**は102.1となり、前月に比べ0.3%の下落(－)  
 他の光熱(灯油) 2.4%の下落(－)  
 電気代 0.3%の下落(－)  
 ガス代 0.2%の下落(－)
- (5) **諸雑費**は102.9となり、前月に比べ0.3%の下落(－)  
 身の回り用品(かばん類、腕時計・指輪等) 1.3%の下落(－)  
 理美容用品(電気かみそり、歯ブラシ、石けん類、化粧品等) 0.5%の下落(－)

表1 10大費目別対前月上昇率及び寄与度

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品を除く総合	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合
指数	101.3	102.1	101.3	102.1	93.5	105.0	104.3	97.3	104.0	101.5	102.9	101.6	100.5
上昇率(%)	▲0.3	0.3	0.0	▲0.3	▲1.9	▲0.1	0.0	▲1.3	0.0	▲0.5	▲0.3	▲0.3	▲0.4
寄与度	▲0.3	0.07	0.00	▲0.02	▲0.06	▲0.01	0.00	▲0.16	0.00	▲0.05	▲0.02	▲0.28	▲0.30

\* 寄与度は、各品目または各項目の総合指数の上昇率に対する影響度を見るもの

## 2 前年同月との比較

総合指数の前年同月比は0.5%の上昇となった。

10大費目でみると、洋服などの「被服及び履物」が3.0%、教養娯楽サービスなどの「教養娯楽」が2.0%の上昇となった。

一方、家庭用耐久財などの「家具・家事用品」が4.2%の下落となった。

なお、生鮮食品を除く総合指数の前年同月比は0.5%の上昇となった。

また、食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数の前年同月比は0.0%と同水準となった。

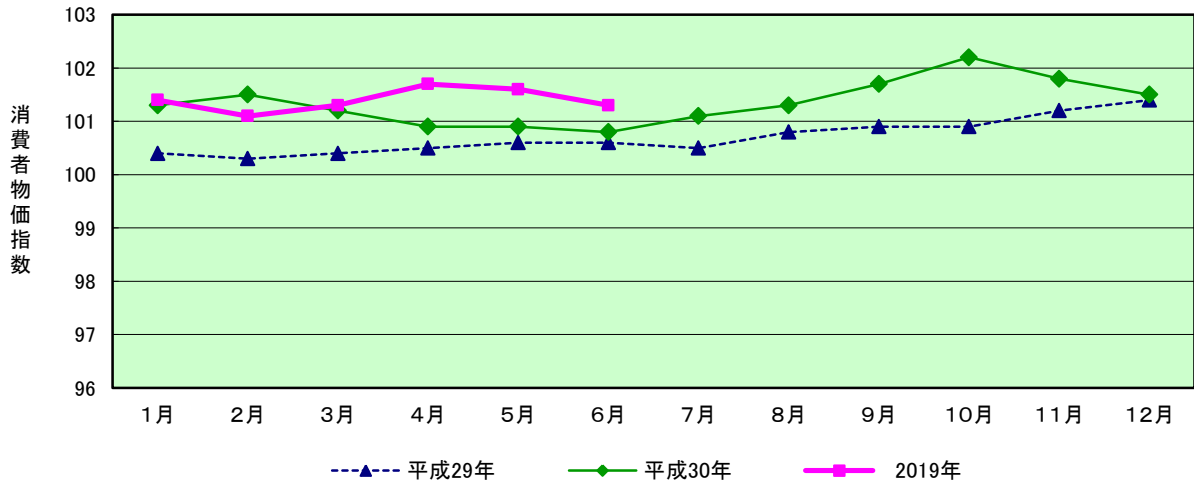
### ○費目ごとの主な動き

- (1) **家具・家事用品**は93.5となり、前年同月に比べ4.2%の下落(－)
- 家庭用耐久財（電子レンジ、電気炊飯器、ルームエアコン等） 12.0%の下落(－)
  - 室内装備品（室内時計、照明器具、カーペット等） 7.9%の上昇(＋)
  - 家事雑貨（食器類、台所用品、他の家事雑貨(タオル等)） 5.5%の減少(－)
- (2) **被服及び履物**は105.0となり、前年同月に比べ3.0%の上昇(＋)
- 洋服 5.3%の上昇(＋)
  - シャツ・セーター類 3.1%の上昇(＋)
  - 他の被服類（帽子、ネクタイ、靴下、ベルト等） 0.9%の下落(－)
- (3) **教養娯楽**は101.5となり、前年同月に比べ2.0%の上昇(＋)
- 教養娯楽サービス（宿泊料、月謝類、入場・観覧・ゲーム代等） 2.6%の上昇(＋)
  - 教養娯楽用品（文房具、運動用具、玩具等） 1.4%の上昇(＋)
  - 書籍・他の印刷（新聞代、雑誌、書籍） 1.2%の上昇(＋)
- (4) **交通・通信**は97.3となり、前年同月に比べ1.7%の下落(－)
- 通信（はがき、通信料(固定・携帯電話)、運送料等） 5.1%の下落(－)
  - 自動車等関係費（自動車、自転車、自動車等維持(ガソリン、自動車タイヤ、自動車保険料等)） 0.3%の上昇(＋)
  - 交通（鉄道運賃、航空運賃、有料道路料等） 0.3%の上昇(＋)

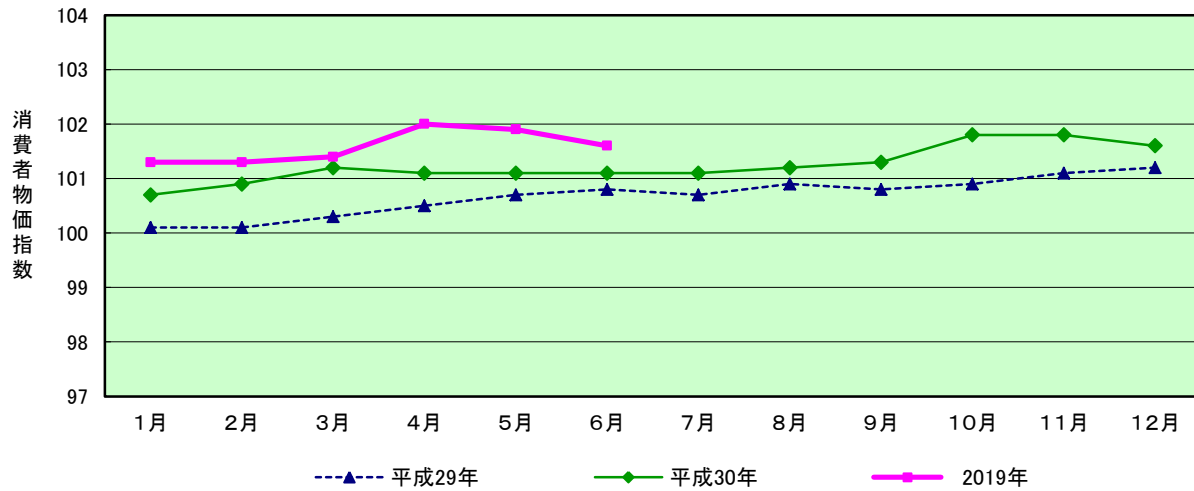
表2 10大費目別対前年同月上昇率及び寄与度

		総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品を除く総合	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合
対前年同月上昇率(%)	5月	0.7	1.0	0.1	2.0	▲3.6	3.3	0.4	▲0.9	0.8	2.2	0.9	0.8	0.3
	6月	0.5	1.1	0.1	1.6	▲4.2	3.0	0.2	▲1.7	0.8	2.0	0.6	0.5	0.0
寄与度	5月	0.7	0.26	0.01	0.14	▲0.13	0.17	0.02	▲0.12	0.03	0.21	0.06	0.80	0.17
	6月	0.5	0.30	0.02	0.11	▲0.15	0.15	0.01	▲0.22	0.03	0.19	0.04	0.51	0.03

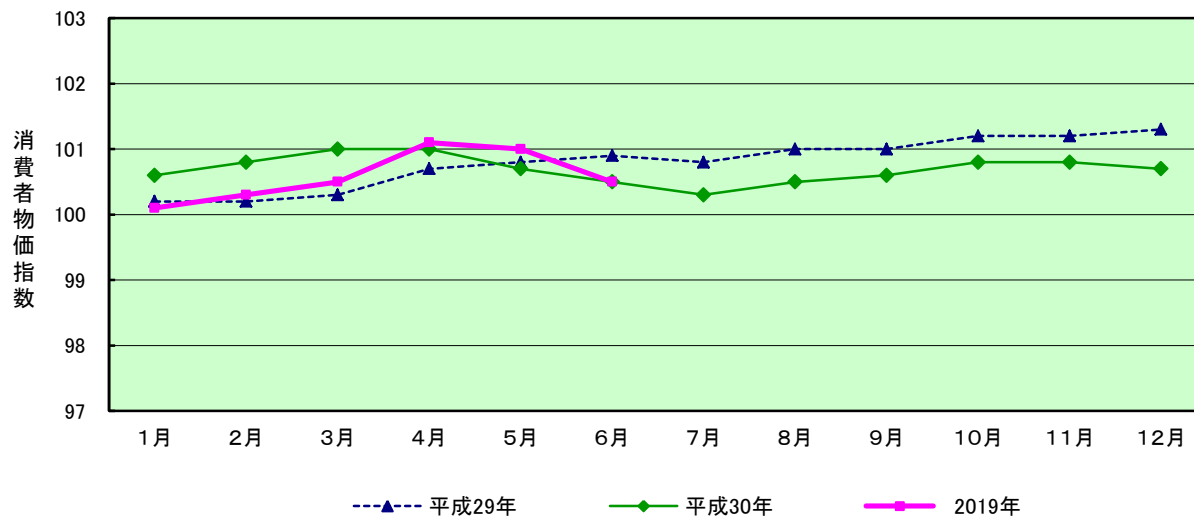
総合指数の推移



生鮮食品を除く総合指数の推移

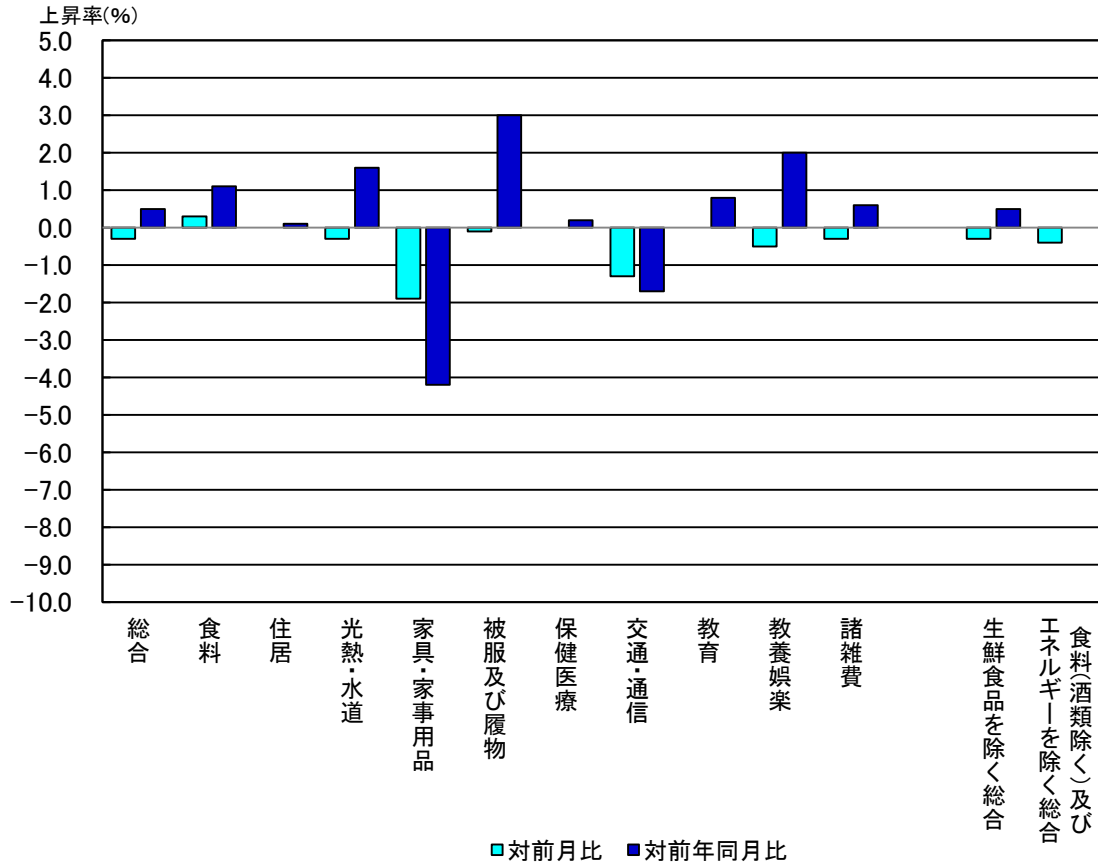


食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の推移



### 10大費目別 対前月比 及び 対前年同月比

2019年6月



### 生鮮品目の推移

